

2019/1~2019/3 にっしん景況レポート

2019/4

Vol.
12



日新信用金庫では、当金庫営業エリア内で事業を営む経営者の皆様からご協力をいただき、2019年1~3月の景気の現状と2019年4~6月期の見通しを調査する景気動向調査を実施しました。対象業種は、製造業、卸売業、小売業、サービス業、建設業、不動産業の6業種です。

〈調査概要〉

1. 調査対象期間 : 2019年1~3月の実績(3月については予想)
2019年4~6月の見通し
2. 調査方法 : 営業店調査員による面接聴き取り
3. 調査対象先 : 当金庫営業エリア内の357社
4. 分析方法 : D.I.という指標を用いた分析。
D.I.とは、ディフュージョン・インデックス (Diffusion Index) の略で、各質問項目について、「増加(良い、上昇)」とプラスの回答をした企業の割合(%)から、「減少(悪い、下降)」とマイナスの回答をした企業の割合(%)を差引いた指標で、構成比の差が判断D.I.となります。
各回答がプラス、マイナスどちらの方向に向かっているか、上向きの力が強いのか、下向きの力が強いのかを示す指標となります。
5. 期間について : 今期 = 2019年1~3月
前期 = 2018年10~12月
前年同期 = 2018年1~3月
来期 = 2019年4~6月
6. 業種別、地区別回答数

	地区合計	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
明石地区	153	49	22	18	24	20	20
三木地区	53	17	11	5	8	8	4
神戸地区	151	24	23	17	39	25	23
業種合計	357	90	56	40	71	53	47

● 今期の景況

今期(2019年1月~3月)の全業種における業況判断D.I.は3.1となり、前期実績と比して3.1ポイント低下した。売上額判断D.I.は2.5となり、前期実績と比して12.9ポイントの低下、収益判断D.I.は▲2.5となり、前期実績と比して12.3ポイント低下した。

売上額判断D.I.の前年同期比は11.8、収益判断D.I.の前年同期比は6.7となり、昨年の同じ時期に比べ売上額及び収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲40.7となり、前期実績より3.8ポイント改善したものの、調査開始の2016年4月から依然として人手不足感が強い状況となっている。

● 来期の見通し

来期(2019年4月~6月)の予想業況判断D.I.は5.9と今期実績3.1から2.8ポイント改善する見通しとなっている。また、予想売上額判断D.I.は8.7、予想収益判断D.I.は4.5となり、いずれも今期実績から改善する見通しとなっている。

〈「御社の業況」回答数〉

	良い	やや良い	普通	やや悪い	悪い	合計
回答数	24	63	194	64	12	357
回答割合	6.7%	17.6%	54.3%	17.9%	3.4%	100%

$$\text{業況判断D.I.} = 24.370\% - 21.289\% \div 3.1$$

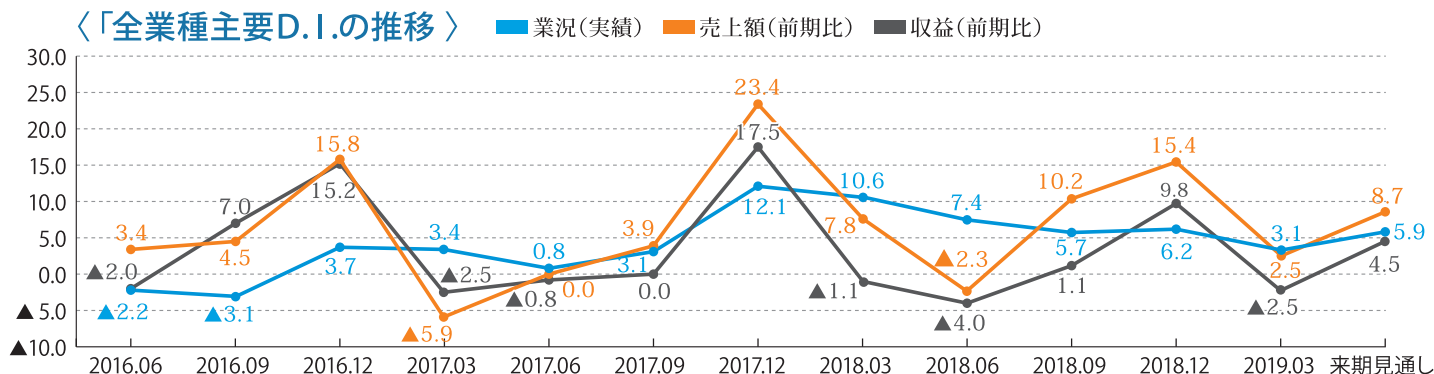
〈2019年1~3月地区別業況判断D.I.〉

	全業種	製造業	卸売業	小売業	サービス業	建設業	不動産業
明石地区	▲0.7	4.1	▲4.5	▲44.4	8.3	10.0	10.0
三木地区	▲5.7	▲11.8	0.0	▲40.0	0.0	0.0	25.0
神戸地区	9.9	16.7	21.7	▲29.4	▲2.6	36.0	13.0
全地区	3.1	4.4	7.1	▲37.5	1.4	20.8	12.8

〈全業種総合主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	6.2	3.1	5.9	販売価格(前期比)	9.3	6.5	7.9
売上額(前期比)	15.4	2.5	8.7	仕入価格(前期比)	35.5	31.4	28.0
売上額(前年同期比)	14.8	11.8	—	資金繰り(楽-苦)	1.1	▲3.1	0.3
収益(前期比)	9.8	▲2.5	4.5	人手不足(過剰-不足)	▲44.5	▲40.7	▲41.1
収益(前年同期比)	3.4	6.7	—				

〈「全業種主要D.I.の推移」〉



● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は4.4となり、前期実績と比して9.4ポイント低下した。

収益面では、売上額判断D.I.は▲1.1、収益判断D.I.は▲6.7となり、前期実績と比してそれぞれ12.6ポイント、19.3ポイント低下した。また売上額判断D.I.の前年同期比は5.6、収益判断D.I.の前年同期比は2.2となり、昨年の同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲42.0となり、前期実績から1.7ポイント改善したものの、依然として人手不足感が強い状況となっている。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は2.2と今期実績から2.2ポイント低下する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は1.1、予想収益判断D.I.は▲4.4となり、それぞれ今期実績から2.2ポイント、2.3ポイント改善する見通しとなっている。

〈製造業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	13.8	4.4	2.2	販売価格(前期比)	5.7	4.4	3.3
売上額(前期比)	11.5	▲1.1	1.1	仕入価格(前期比)	54.7	44.4	32.2
売上額(前年同期比)	16.1	5.6	—	資金繰り(楽-苦)	8.0	8.9	6.7
収益(前期比)	12.6	▲6.7	▲4.4	人手不足(過剰-不足)	▲43.7	▲42.0	▲40.9
収益(前年同期比)	5.7	2.2	—				

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は7.1となり、前期実績と比して12.5ポイント改善した。

収益面では、売上額判断D.I.は5.4、収益判断D.I.は10.7となり、前期実績と比してそれぞれ19.6ポイント、3.6ポイント低下した。また売上額判断D.I.の前年同期比は21.4、収益判断D.I.の前年同期比は17.9となり、昨年の同じ時期に比べ売上額及び収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲33.9となり、前期実績から1.8ポイント低下し、さらに人手不足が強い状況となっている。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は7.3と今期実績から0.2ポイント改善する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は17.9、予想収益判断D.I.は14.3となり、それぞれ今期実績から12.5ポイント、3.6ポイント改善する見通しとなっている。

〈卸売業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲5.4	7.1	7.3	販売価格(前期比)	12.5	7.1	14.3
売上額(前期比)	25.0	5.4	17.9	仕入価格(前期比)	30.4	30.4	33.9
売上額(前年同期比)	25.0	21.4	—	資金繰り(楽-苦)	▲7.1	▲3.6	▲1.8
収益(前期比)	14.3	10.7	14.3	人手不足(過剰-不足)	▲32.1	▲33.9	▲35.7
収益(前年同期比)	10.7	17.9	—				

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は▲37.5となり、前期実績と比して17.5ポイント低下した。

収益面では、売上額判断D.I.は▲42.5、収益判断D.I.は▲45.0となり、前期実績と比してそれぞれ52.5ポイント、45.0ポイント低下した。また売上額判断D.I.の前年同期比は▲32.5、収益判断D.I.の前年同期比は▲27.5となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益が減少したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲27.5となり、前期実績から変わらないものの、依然として人手不足感が強い状況となっている。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は▲30.0と今期実績から7.5ポイント改善する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は▲12.5、予想収益判断D.I.は▲10.0となり、それぞれ今期実績から30.0ポイント、35.0ポイント改善する見通しとなっている。

〈小売業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲20.0	▲37.5	▲30.0	販売価格(前期比)	7.5	▲15.0	2.5
売上額(前期比)	10.0	▲42.5	▲12.5	仕入価格(前期比)	15.0	17.5	27.5
売上額(前年同期比)	▲5.0	▲32.5	—	資金繰り(楽-苦)	▲15.0	▲30.0	▲25.0
収益(前期比)	0.0	▲45.0	▲10.0	人手不足(過剰-不足)	▲27.5	▲27.5	▲33.3
収益(前年同期比)	▲17.5	▲27.5	—				

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は1.4となり、前期実績と比して9.4ポイント低下した。

収益面では、売上額判断D.I.は4.2、収益判断D.I.は▲7.0となり、前期実績と比してそれぞれ14.7ポイント、16.5ポイント低下した。また売上額判断D.I.の前年同期比は26.8、収益判断D.I.の前年同期比は9.9となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲50.7となり、前期実績よりも8.8ポイント改善したものの、依然として人手不足感が強い状況となっている。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は15.5と今期実績から14.1ポイント改善する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は19.7、予想収益判断D.I.は5.6となり、それぞれ今期実績から15.5ポイント、12.6ポイント改善する見通しとなっている。

〈サービス業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	10.8	1.4	15.5	販売価格(前期比)	12.2	9.9	7.0
売上額(前期比)	18.9	4.2	19.7	仕入価格(前期比)	37.0	22.5	15.5
売上額(前年同期比)	32.4	26.8	—	資金繰り(楽-苦)	▲4.1	▲14.1	▲7.0
収益(前期比)	9.5	▲7.0	5.6	人手不足(過剰-不足)	▲59.5	▲50.7	▲50.7
収益(前年同期比)	8.1	9.9	—				

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は20.8となり、前期実績と比して12.5ポイント低下した。

収益面では、売上額判断D.I.が24.5、収益判断D.I.が13.2となり、前期実績と比して売上額判断D.I.は2.3ポイント改善、収益判断D.I.は5.3ポイント低下した。また売上額判断D.I.の前年同期比は18.9、収益判断D.I.の前年同期比は18.9となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲60.4となり、前期実績から6.3ポイント改善したものの、依然として人手不足感が強い状況となっている。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は18.9と今期実績から1.9ポイント低下する見通しとなっている。収益面では、予想売上額判断D.I.は11.3、予想収益判断D.I.は17.0となり、今期実績から予想売上額判断D.I.は13.2ポイント低下、予想収益判断D.I.は3.8ポイント改善する見通しとなっている。

〈建設業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	33.3	20.8	18.9	販売価格(前期比)	11.1	13.2	11.3
売上額(前期比)	22.2	24.5	11.3	仕入価格(前期比)	35.2	34.0	35.8
売上額(前年同期比)	9.3	18.9	—	資金繰り(楽-苦)	11.1	7.5	13.2
収益(前期比)	18.5	13.2	17.0	人手不足(過剰-不足)	▲66.7	▲60.4	▲58.5
収益(前年同期比)	9.3	18.9	—				

● 今期の景況

今期の業況判断D.I.は12.8となり、前期実績と比して23.7ポイント改善した。

収益面では、売上額判断D.I.は17.0、収益判断D.I.は14.9となり、前期実績と比してそれぞれ14.8ポイント、17.1ポイント改善した。また売上額判断D.I.の前年同期比は19.1、収益判断D.I.の前年同期比は12.8となり、昨年と同じ時期に比べ売上額および収益は増加したと回答した企業の割合が多い結果となった。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲19.6となり、前期実績よりも6.5ポイント改善したものの、依然として人手不足感が強い状況となっている。

● 来期の見通し

来期の予想業況判断D.I.は12.8と今期実績から変わらない見通しとなっている。予想売上額判断D.I.は10.6、予想収益判断D.I.は6.4となり、それぞれ今期実績から6.4ポイント、8.5ポイント低下する見通しとなっている。

〈不動産業主要D.I.〉

	前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)		前期 (実績)	今期 (実績)	来期 (見通し)
業況(実績)	▲10.9	12.8	12.8	販売価格(前期比)	6.8	15.2	10.9
売上額(前期比)	2.2	17.0	10.6	仕入価格(前期比)	20.9	29.5	22.7
売上額(前年同期比)	▲4.3	19.1	—	資金繰り(楽-苦)	8.7	2.1	8.5
収益(前期比)	▲2.2	14.9	6.4	人手不足(過剰-不足)	▲26.1	▲19.6	▲19.6
収益(前年同期比)	▲6.5	12.8	—				

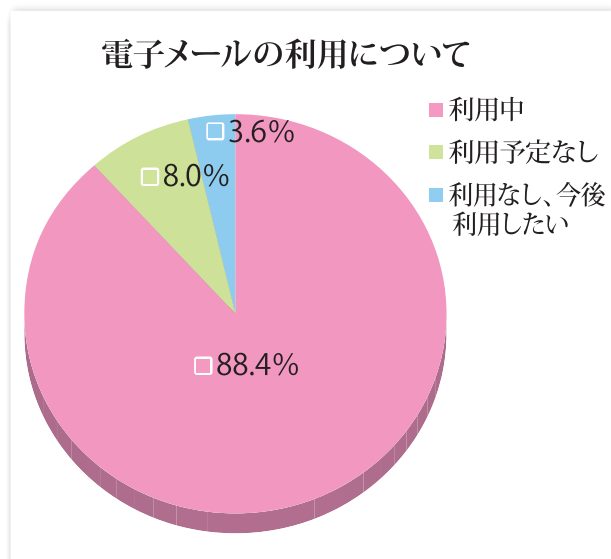
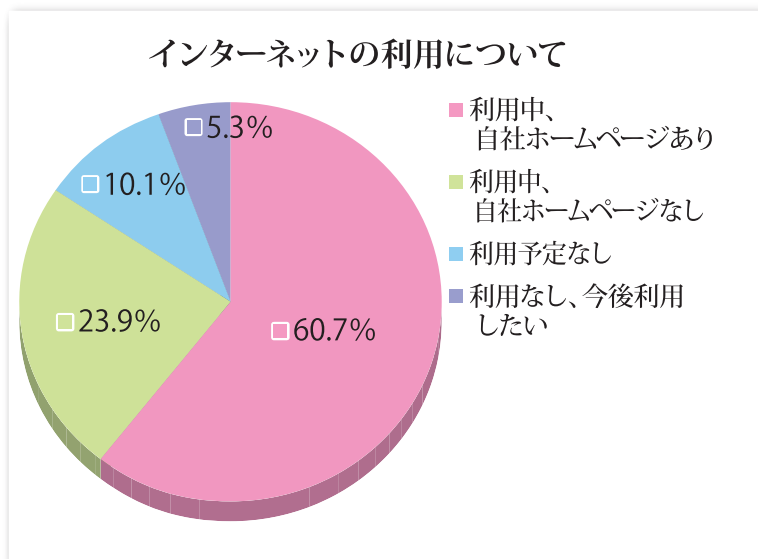
特別調査：中小企業におけるインターネット利用とキャッシュレスへの対応について

● インターネットの利用について

インターネットの利用については、「利用中、自社ホームページあり(60.7%)」が最も多く、次いで「利用中、自社ホームページなし(23.9%)」、「利用予定なし(10.1%)」、「利用なし、今後利用したい(5.3%)」となった。

● 電子メールの利用について

電子メールの利用については、「利用中(88.4%)」が最も多く、次いで「利用予定なし(8.0%)」、「利用なし、今後利用したい(3.6%)」となった。

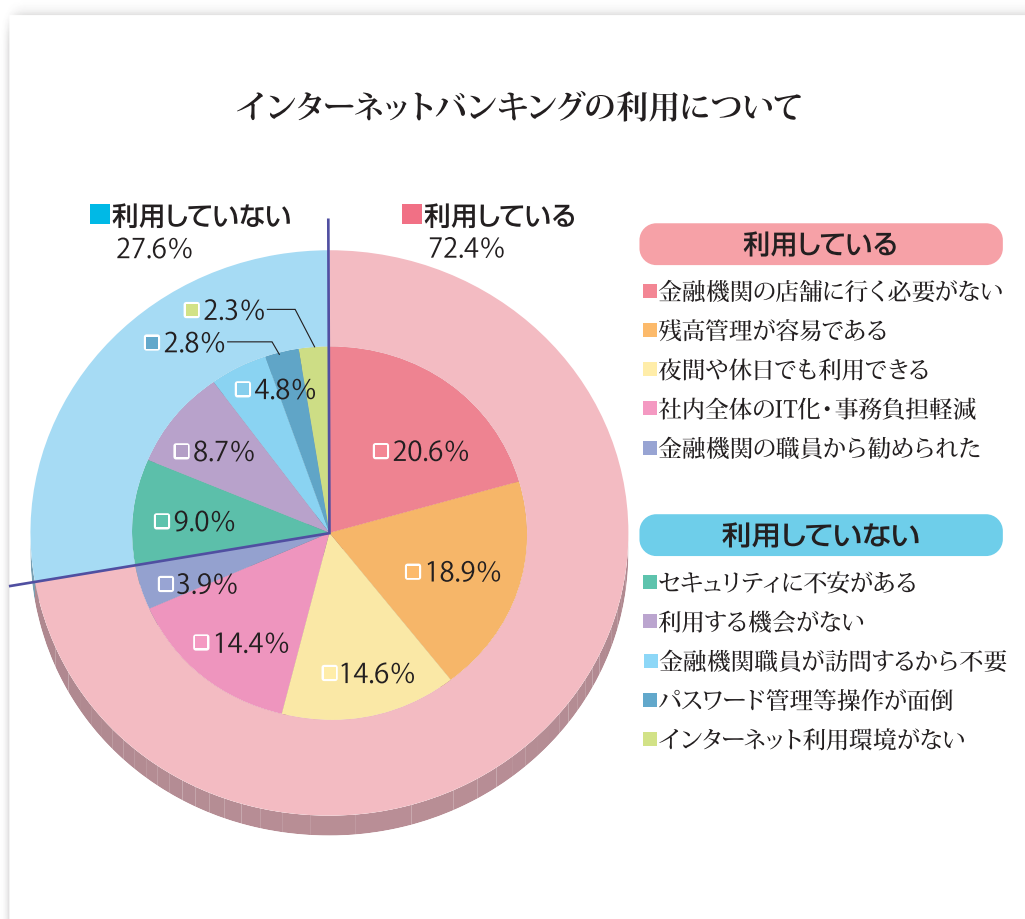


● インターネットバンキングの利用について

インターネットバンキングの利用については、「利用している」72.4%、「利用していない」27.6%となった。

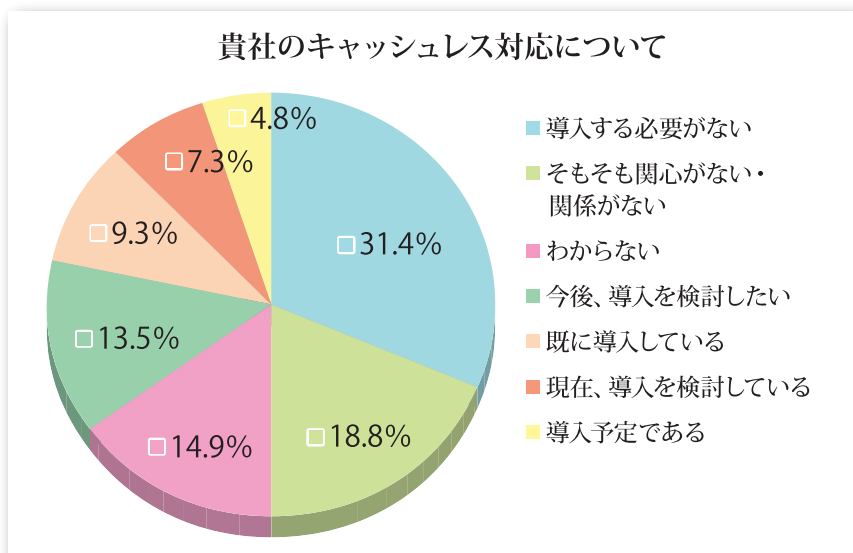
インターネットバンキングを「利用している」理由は、「金融機関の店舗に行く必要がない(20.6%)」が最も多く、次いで「残高管理が容易である(18.9%)」、「夜間や休日でも利用できる(14.6%)」、「社内全体のIT化・事務負担軽減(14.4%)」、「金融機関の職員から勧められた(3.9%)」となった。

インターネットバンキングを「利用していない」理由は、「セキュリティに不安がある(9.0%)」が最も多く、次いで「利用する機会がない(8.7%)」、「金融機関職員が訪問するから不要(4.8%)」、「パスワード管理等操作が面倒(2.8%)」、「インターネット利用環境がない(2.3%)」となった。



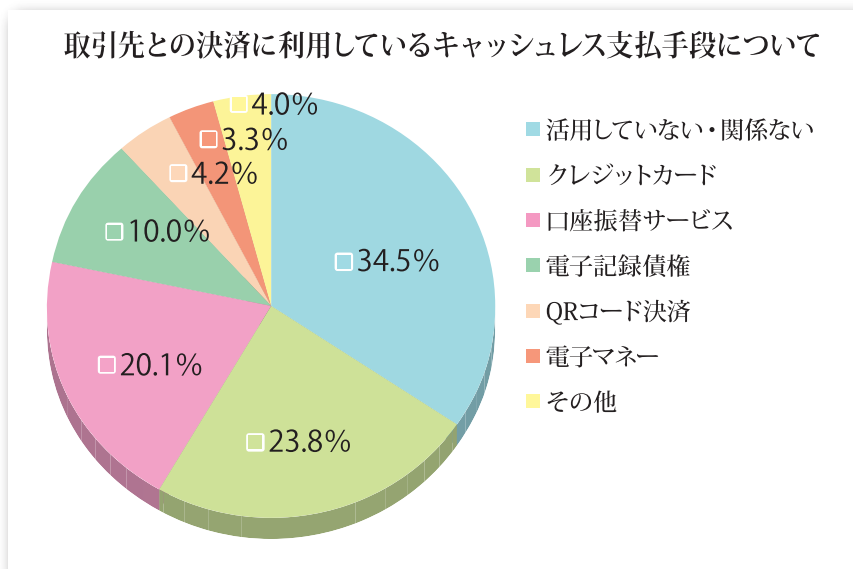
● 貴社のキャッシュレス対応について

貴社のキャッシュレス対応については、「導入する必要がない(31.4%)」が最も多く、次いで「そもそも関心がない・関係がない(18.8%)」、「わからない(14.9%)」、「今後、導入を検討したい(13.5%)」、「既に導入している(9.3%)」、「現在、導入を検討している(7.3%)」、「導入予定である(4.8%)」となった。



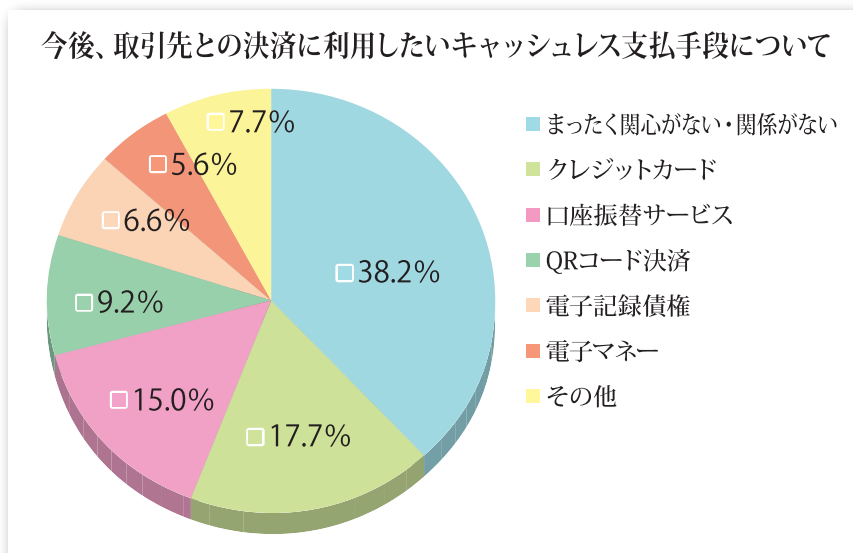
● 取引先との決済に利用しているキャッシュレス支払手段について

取引先との決済に利用しているキャッシュレス支払手段については、「活用していない・関係ない(34.5%)」が最も多く、次いで「クレジットカード(23.8%)」、「口座振替サービス(20.1%)」、「電子記録債権(10.0%)」、「QRコード決済(4.2%)」、「電子マネー(3.3%)」、「その他(4.0%)」となった。



● 今後、取引先との決済に利用したいキャッシュレス支払手段について

今後、取引先との決済に利用したいキャッシュレス支払手段については、「まったく関心がない・関係がない(38.2%)」が最も多く、次いで「クレジットカード(17.7%)」、「口座振替サービス(15.0%)」、「QRコード決済(9.2%)」、「電子記録債権(6.6%)」、「電子マネー(5.6%)」、「その他(7.7%)」となった。



イベント関連

●「創業応援セミナー」を実施します！

当金庫のお客様向けに以下のとおり「創業応援セミナー」を実施します。
詳しくはお取引店までお問合せください。

- 日 時：2019年5月14日(火) 14:00～17:00
 - 場 所：日新信用金庫 本店8階
 - 参加費：無料
 - 定 員：8名
- 内 容：創業に当たってビジネスプランの作り方や、補助金の概要について説明します。当金庫が起業や第二創業向けに実施している融資制度をご案内します。

●経営に役立つ少人数制のセミナーを実施します！

当金庫のお客様向けに以下のとおり経営に役立つ少人数制セミナーを実施します。
詳しくはお取引店までお問合せください。

- 参加費：無料
 - 定 員：先着8社まで
 - 内 容：「キャッシュレス決済セミナー」
キャッシュレス決済の活用方法と当金庫が提携している「Origami Pay」について、わかりやすく解説します。
- ① 日時：2019年5月16日(木) 14:30～16:30
場所：日新信用金庫 三木支店2階
- ② 日時：2019年5月23日(木) 14:30～16:30
場所：日新信用金庫 本店8階

商品関連

- キャンペーン商品としてお取り扱いしております以下の商品も是非ご利用ください。

- ★スーパー定期「超パワフル」(年金お受け取りのお客様対象)
- ★スーパー定期「年金Jr.」(当庫で年金お受け取りをご予約いただいたお客様対象)
- ★子育て応援定期積金「夢すくすく」(18歳以下のお子様がおられるお客様対象)

- 当金庫の新たな情報発信ツールとして「LINE@」をはじめました。「LINE@」では当金庫からキャンペーン商品のご案内、地域貢献、地域イベントの紹介等を発信しますので、右記QRコードから「友だち」登録をお願いします。




このたびは、第12回中小企業景気動向調査にご協力いただきまして誠にありがとうございました。

調査結果についてのご照会、またご不明点等ございましたら、下記フリーダイヤルまでお問合せください。

 **日新信用金庫**

〒673-0892 兵庫県明石市本町2丁目3番20号

フリーダイヤル イコー ニッシンバンク
 **0120-15-2489**

(受付時間) 平日午前9時から午後5時まで